

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	伊勢崎市自殺対策推進協議会委員委嘱状交付式 及び自殺対策推進協議会
開 催 日 時	令和8年7月21日(火)午後2時から3時5分まで
開 催 場 所	市役所東館3階災害対策室
出 席 者 氏 名	(委員)(17名中14名出席で会議成立) 大島朗生委員長 羽鳥則夫副委員長 深澤礼子委員 江森昭夫委員 大和祥晃委員 小見茂久委員 大内彩子委員 田部井由美子委員 齋藤拓委員 新井ゆかり委員 渡邊浩之委員 定方久延委員 佐々木幸子委員 菊入裕美子委員 (事務局) 中野健康推進部長・加藤健康推進部副部長・神保保健センター 所長・堀越保健センター技監・新井保健センター技監・吉田保 健センター係長・大矢保健センター係長・世ノ一保健センター 主査 齋藤保健センター主任
傍 聴 人 数	—
会 議 の 議 題	1. 委嘱状交付式 2. 自殺対策推進協議会 議事 (1) 伊勢崎市における自殺の現状について (2) 令和7年度伊勢崎市自殺対策推進事業について (3) 令和8年度伊勢崎市自殺対策について (4) その他
会 議 資 料 の 内 容	(資料1) 伊勢崎市における自殺の現状について (資料2) 令和7年度伊勢崎市自殺対策推進事業について (資料3) 令和8年度伊勢崎市自殺対策について
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	伊勢崎市自殺対策推進協議会委員委嘱状交付式 1. 開会 2. 委嘱状交付式 3. 市長あいさつ 4. 閉会

	伊勢崎市自殺対策推進協議会 1. 開会 2. 委員自己紹介 3. 事務局職員紹介 4. 委員長・副委員長の選出 委員長：大島朗生委員 副委員長：羽鳥則夫委員に決定 5. 委員長あいさつ 6. 議事 (1) 伊勢崎市における自殺の現状について 資料1について説明（事務局） 【質疑・応答】 委員 地域自殺実態プロファイルの数字の見方について、「自殺者の特性上位5区分」は、自殺者数による順位だと思われるが、自殺死亡率でみると、4位の「男性60歳以上無職独居」が110.3と他と比べてずば抜けて高いことが分かる。評価としては、絶対数（自殺者数）を優先するということがよいか。 事務局 自殺者数（5年計）を優先している。 (2) 令和7年度伊勢崎市自殺対策推進事業について 資料2について説明（事務局） 【質疑・応答】 委員 No.11の地域包括支援センターの事業（認知症サポーターのいるお店登録事業）について、認知症と自殺との関係で、認知症の方がいる家庭のほうが自殺のリスクが高いという認識でよいか。 事務局 この事業は認知症の方がいる家庭だけではなく認知症の方に対しても支援をしていく内容である。地域で活動している認知症サポーターの方と地域の方々が認知症の理解を深めることを目標とし取り組んでいる。 委員 伊勢崎市の自殺対策推進事業について、それぞれ事業ごとに評価はされているが、全体としての評価はどのようになっているのか。それぞれの事業の取り組みが、自殺の減少にどのように繋がっているのか、市としてどのように考えているのか聞きたい。 事務局 自殺には様々な原因が関係しているため、自殺対策の事業を数字で評価することは難しいと思っている。自殺者数も年単位での評価は難しい。各担当課の事業の評価についても、数字ではなく達成度（◎、○等）で表している。皆さんがそれぞれの立場でできることを継続して行っていくことが、この計画では大事だと考えている。また、各担当課の事業も毎年同じ内容で行っているわ
--	--

	けではなく、毎年内容を確認し、次年度に向けて工夫をしながら取り組んでいただいている。自殺対策推進事業実施状況シートで毎年1年、各担当課で実施した事業を振り返りながら、より対策できるようなものに作り上げていけるとよいと考えている。 委員 全体としての評価はあっても良いと思っている。検討していただけたらと思う。 議長 全体の事業が、実際にどのように自殺対策の効果につながっているのかは評価として必要になると思う。数字では表しにくいところではあるが、事業の取り組みによる効果がわかる視点があるとよいのではないか。 委員 労働現場において、メンタルヘルス上の問題や配置転換等が自殺の原因としては強いと思っているが、資料の中には、労働現場の方の相談内容や件数は反映されていない。また、外国人労働者が増えている現場で、相談事業の中にどれだけの外国人が含まれているのか気になる。市で把握していることがあるか。 事務局 厚生労働省から出ている「地域における自殺の基礎資料」をもとに伊勢崎市の状況を把握しており、その数には外国人も含まれている。しかし、自殺者が外国籍の方なのか、日本国籍の方なのかは個人情報の点からも知り得ることはできていない。 (3) 令和8年度伊勢崎市の自殺対策について 資料3について説明(事務局) 事前にいただいた意見について ・ゲートキーパーとは悩みを抱えている人の変化やサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて適切な支援につなぐ役割を担う人です。身近な人の変化に気づき、孤立を防ぎ、安心して相談できる地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。特に子どもを取り巻く大人が話を聴く、寄り添う、必要な支援につなぐ、そのことの大切さを学ぶ機会を増やすとともに、子ども自身も自分や友人のこころの変化に気づき、1人で抱え込まず、助けを求めることの大切さを伝える活動を進めていきたいと考えています。伊勢崎市においても、学校、PTA、地域団体等と連携した出前授業や保護者向けの講座を実施できる仕組みづくりを検討し、地域全体で子どもの悩みを抱える方を支える体制の充実につなげていければと思います。 事務局 悩みを抱えている人の中には、なかなか自分から相談できずに、1人で抱え込んでしまう場合もある。サインに気づき、声を掛け合うことができる、また安心して相談できる関係づくりが大切であると思う。5つの基本施策を柱に関係機関団体と協力しながら悩みを抱える方を支えることができる地域づくりを地域全体に広げていけるよう引き続き皆様のご協力をお願いしたい。 (4) その他 なし
--	--

	議長 事務局におかれましては、本日の意義ある討議内容をもとに、益々充実した自殺対策を推進されますようお願い申し上げ、議長の任を解かせていただきたい。 7 閉会
--	---